

中小企業ロボット 導入活用セミナー

～中小企業へのロボット導入の先進的な取組み事例と課題～

経済産業省 平成28年度 地域中核企業創出支援事業

主催：経済産業省 中部経済産業局
国立大学法人名古屋工業大学 産学官連携センター

協力：あいちロボット産業クラスター推進協議会
名古屋工業大学研究協力会

2016.12.9 (Fri)

13時30分～17時00分 (開場・受付開始12時50分)

名古屋工業大学 御器所キャンパス 新講堂 NITech Hall (ナイテック・ホール)

名古屋市昭和区御器所町字木市29番

◆参加費：無料

◆定員：400名

◆申し込み方法

電子メールによる申し込み / 宛先：automa-seminario@adm.nitech.ac.jp
会社・団体名、所属 / 役職、氏名、住所、電話番号、
ユーザー・ロボットSler・ロボットメーカーの分類、
ロボット導入計画の有無をご記入の上、
お申し込みをお願いします。

◆お問い合わせ先

国立大学法人名古屋工業大学 産学官連携センター

「産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業」実行委員会 事務局

Tel/Fax: 052-735-7349 URL: <http://tic.web.nitech.ac.jp/>

本セミナー開催に向けて

産業用ロボットはこれまで、当地域に集積する自動車産業において、生産性の向上・省力化を図るため自動車の溶接や塗装等の工程を中心に活用されてきました。しかし一方、これら自動車産業を支える中小の部品製造業では、ロボットを導入することによる製品製造の高効率化は進んでおりません。

そうした中、昨今の中小製造業を取り巻く状況は大きく変化し、①大企業生産拠点の海外移転とそれに伴う国内の部品製造(下請け)需要の減少、②生産ロットの減少(少量多品種化)による品種替えなど人手ニーズの増加、③高い技能を有する技術者の採用難などの課題を抱えています。こうした課題を解決する有力な手段として、ロボットの活用があらためて検討され始めており、国レベルにおいても、ロボット産業を将来我が国の基幹産業の一つに成長させるべく、ロボット産業育成に向けた各種の取り組みを進めているところです。

そこで、本学は、産学官連携事業の経験とネットワーク、そしてアカデミアの知を活かして、今後ロボットの導入・活用が期待されるものづくり企業とSI企業のハブ機能を果たし、両者の

マッチング及び能力向上に向けた取組を進め、産業用ロボットの導入を支援してまいります。

その第一弾として、産業用ロボットの導入・活用の促進に向けた支援体制「産業用ロボット活用促進ネットワーク」の構築を目指し、ものづくり企業やSI企業、ロボットメーカー、自治体等をメンバーとする「産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業実行委員会」を設立しました。

本セミナーでは、まずそれらの皮切りとして、「中小企業へのロボット導入の先進的な取り組み事例と課題」を中心にご紹介させていただきます。

関係各位のご参加、積極的なご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

国立大学法人名古屋工業大学 副学長 産学官連携センター長 江龍 修
 (「産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業」実行委員会委員長)

講演1

「日本のお家芸であるロボットを活用したものづくりの未来」

高丸工業株式会社 代表取締役
高丸 正氏

1985年2代目代表に就任、以降一貫してロボットシステムの設計製造に携わり、2007年には尼崎ロボットテクニカルセンター(2016年9月、西宮市に移転)を開設。

「中小企業におけるロボット化は、人材育成からである」という考えのもと、各種セミナーや見学会を積極的に開催し、過去1600名以上の方に「産業用ロボット特別教育修了証」を発行。

また、工業高校・大学よりインターンシップを受け入れ、学生対象にロボット操作教育を実施するなど、「ロボットを多くの企業に普及したい」という熱い思いを持ち活動している。

講演2

「ロボット活用の最新動向と国のロボット利活用促進施策」

ミツイワ株式会社 代表取締役社長
羅本 礼二氏

主な推進・参画プロジェクト

- 2012年～(継続) 農林水産省 先端技術展開事業「漁村のスマート・コミュニティ技術実用化・実証研究」
- 2013～14年 経済産業省「東北地方における産学連携協創産業イノベーション事業(東京大学連携プロジェクト)」
- 2016年～(継続) ロボット革命イニシアティブ協議会 WG1「FA-IT連携システム連携サブWG」
- 2016年～(継続) 名古屋工業大学「産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業」(地域中核企業創出・支援事業)

その他、多くの大企業、中堅・中小企業のICTシステム構築プロジェクトやロボット・自動化システム導入プロジェクト等に参画

講演3

「産業用ロボット導入の実例とシステム構築の勘所」

株式会社バイナス 取締役技術部長
永井 伸幸氏

株式会社バイナスは産業用教材では国内トップシェアを持つ。

ロボット実習装置やプログラマブルコントローラー実習装置、サーボ実習装置など工場で使用される機器を教材にし、工業高校や高専、企業の研修センターで長年の実績がある。

産業用ロボットを使用したSierの事業では国内外のロボットを多彩に使用し、画像処理装置などのセンサーを組合せ、今まで人手に頼るしかない業務を自動化している。

PROGRAM

◆会場入口では、ロボット導入事例等のパネル展示を予定しております。
 ※プログラムにつきましては予定となっており、変更となる場合がございます。

13:30～13:50 開会挨拶

国立大学法人名古屋工業大学 副学長 産学官連携センター長 江龍 修
 (「産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業」実行委員会委員長)
 株式会社マクシス・シントー 常務取締役 小池 一郎氏
 (本事業における地域中核企業候補)

13:50～14:45 講演 1

「日本のお家芸であるロボットを活用したものづくりの未来」
 高丸工業株式会社 代表取締役 高丸 正氏

14:45～15:40 講演 2

「ロボット活用の最新動向と国のロボット利活用促進施策」
 ミツイワ株式会社 代表取締役社長 羅本 礼二氏

15:40～15:50 休憩

15:50～16:45 講演 3

「産業用ロボット導入の実例とシステム構築の勘所」
 株式会社バイナス 取締役技術部長 永井 伸幸氏

16:45～17:00 施策の紹介

「ロボット関連支援施策の紹介」
 経済産業省 中部経済産業局

17:00 閉会

※地域中核企業創出支援事業

本事業は、地域を牽引している/できる「地域中核企業」を創出、その成長を支援することで、地域経済を活性化、地域産業の裾野拡大を目的とします。

※産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業

ものづくり及びロボット産業の集積する当地域において、本学支援人材のネットワークと技術教育ノウハウを生かし、主に中小企業のロボット導入支援とSI企業とのマッチング促進の仕組みを構築します。中核企業は本事業によりロボット活用技術を向上し、その成果を事業に反映します。さらに全国で活用可能な仕組みづくりを行います。

※地域中核企業とは、下記のような機能を有する企業とします。

- ・所在する地域又は近隣地域からの仕入(域内仕入)が多い
- ・地域の雇用や経済に貢献している
- ・その他、当該企業の成長が地域にとって良い波及効果をもたらすなど

Access



名古屋工業大学 新講堂
NITech Hall
 (正門から入り右側)

- JR東海…中央本線 鶴舞駅下車
 (名大病院口から東へ約400m)
- 地下鉄…鶴舞線 鶴舞駅下車
 (4番出口から東へ約500m)
 桜通線 吹上駅下車
 (5番出口から西へ約900m)
- 市バス…栄18 名大病院下車(東へ約200m)
 昭和巡回 名大病院下車(東へ約200m)

※「栄18」「昭和巡回」は市バスの系統名です。

国立大学法人
名古屋工業大学
 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所字木市29番
 TEL & FAX : 052-735-7349 担当田中